

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然体験「あんじゃねの森」づくり事業
事業主体 (連絡先)	泰阜村 (0260-26-2111)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	510,000 円

事業内容

- ・自然体験活動を行うなかで、より広範囲での自然体験や植生の多様性が求められてきたことから、森林整備を行い、活動可能な範囲を拡大及び体験活動の充実を図る。
- ・村民有志により構成されるあんじゃね自然学校において、整備した森や伐採木を活用した体験活動を実施する。活動を通して森の活用方法や森の役割、間伐の必要性に関する環境教育を行い、自然環境の維持を考えるきっかけとする。



【森での体験活動の様子】

【目標・ねらい】

- ①生物の多様性を確保する森林整備を行い、体験活動の充実を図る。
- ②森や学校等における環境教育を行うことで園児から保護者までの環境意識情勢を図る。
- ③長期的な視点から森の整備、活用方針を決定する活動計画を策定。

事業効果

- ①整備が行き届いていない山林の整備の第1段階として針葉樹の伐採を行うことで、次年度以降の広葉樹植林による里山の生物多様性を確保する活動につなげることができた。
- ②あんじゃね学校における自然環境教育の実施により、子どもたちが環境に配慮した暮らしや村での生活文化について考えるきっかけとすることができた。
- ③これまであんじゃね支援会議として決定してきた「やりたいこと」を計画として明文化することで長期的な視点に立った活動に結びつけることができた。

※自己評価【B】

【理由】

目標・ねらいのとおり事業を実行することができた。

今後の取り組み

- 伐採した山林・森へ子ども、地域住民を巻き込んだ植林活動や広葉樹林が成長する間の維持管理を行うことで森の多様性を促進する。
- 村内小中学校等と連携し、園児から大人まで住民を巻き込んだ環境教育を継続的かつ実践的に行っていく。
- 策定した「あんじゃねの森整備計画」の進捗管理を行い、設定した目標達成のため、森の活用、森から学ぶ生活文化の伝承、環境教育にかかる取り組みを推進する。